

**受付：令和2年5月**
**怪我が起きた時の対応について**

<b>申出人</b>	園児保護者（年中4歳児）
<b>内容</b>	<p>園の中で転倒し製作ワゴンの柱に左頬あたりをぶつけ、擦り傷及び腫れが出てきてしまった、怪我をさせてしまって申し訳ございませんでしたと謝罪を受けた。園側に受診の相談をするも「受診の心配はないと思う《と園の看護師にも言われたが、たまたま別の理由で受診したので診てもらうと医師に「やわらかい部分だし勝手に判断してはいけない《と言われたとのこと。</p> <p>過去の経験から怪我の怖さを知っていたこともあり、相談するも園では受診の必要はないとの対応に上信感をもった。</p> <p>怪我をしたこと、園で受診をしなかったことを責めるつもりはありません。</p>
<b>園の対応</b>	<p>首から上の怪我は、受診すると決めてあったにも関わらず、園の看護師に診てもらった後の判断に任せてしまい受診をしなかったが、必ず受診をする。</p> <p>大切な命をお預かりさせていただいているという事を、もう一度しっかり心に刻み、また、保護者様のお子さまを思う深い気持ちを改めて学ばせていただき、受け止め、寄り添っていけるように職員一同気を引き締めていくことを、ご報告した。</p>

**受付：令和2年12月**
**お子さまへの対応について**

<b>申出人</b>	園児保護者（年少3歳児）
<b>内容</b>	<p>9月からの転入園ということもあり、まだ上安定なのかもしれないが、幼稚園に行きたがらない。担任の対応に怖さを感じてしまっている。一つの原因は、給食中に腹痛を申し出るが、担任は食事のマナーを重要視してしまったため、すぐにトイレに行くよう指示をせず、その後トイレに行くように促すも間に合わず排泄してしまったこともある。</p> <p>担任の先生と合わないのでは・・・と感じる。</p> <p>母親も県外から引っ越してきたことや、コロナ禍の中、他の方々との交流もほとんどなく一人で悩んでしまっているとのこと。</p>
<b>園の対応</b>	<p>担任にも保護者さまの気持ちを話し、3歳の小さなお子様が担任のことを怖いと思ったり感じてしまうことはあってはならないことだと伝えた。担任も自分を振り返り大いに反省し保護者様に謝罪した。</p> <p>本児や本児のご家族が安心して登園でき「幼稚園って楽しい《とさせていただけるようたっぷりの愛情をそそいでいくことを約束させていただきました。</p> <p>また、どのお子さまに対しても同様にあたたかい対応をし、幼稚園が楽しい場所となるよう努力していくことを、全職員にも伝えたことを保護者様に、ご報告した。</p>